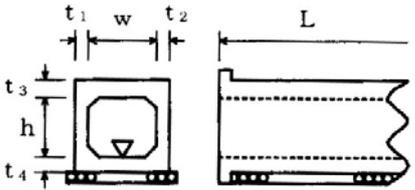
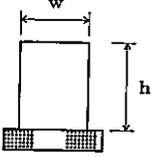
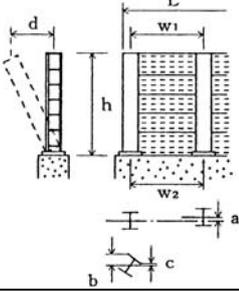
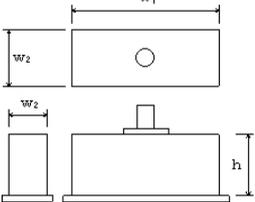
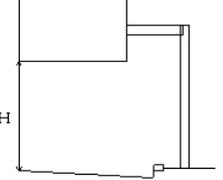


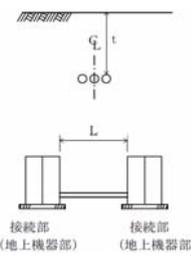
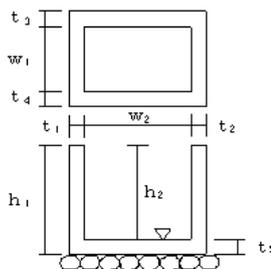
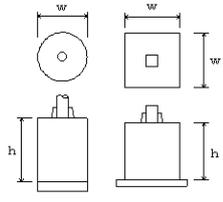
工 種	測定項目		規格値	
遮音壁支柱製作工	部材	部材長 $\ell$ (m)	$\pm 3 \cdots \ell \leq 10$ $\pm 4 \cdots \ell > 10$	
	基準高	$\nabla$	$\pm 30$	
場所打函渠工	厚 さ	$t_1 \sim t_4$	$-20$	
	幅(内法)	w	$-30$	
	高 さ	h	$\pm 30$	
	延 長	L	$L < 20\text{m}$	$-50$
			$L \geq 20\text{m}$	$-100$
遮音壁基礎工	幅	w	$-30$	
	高 さ	h	$-30$	
	延 長	L	$-200$	
遮音壁本体工	支 柱	間 隔 w	$\pm 15$	
		ず れ a	10	
		ねじれ b-c	5	
		倒 れ d	$h \times 0.5\%$	
	高 さ	h	$+30、-20$	
	延 長	L	$-200$	
踏掛版工 (コンクリート工)	基準高		$\pm 20$	
	各部の厚さ		$\pm 20$	
	各部の長さ		$\pm 30$	
(ラバーシュー)	各部の長さ		$\pm 20$	
	厚 さ		$\pm$	
(アンカーボルト)	中心のずれ		$\pm 20$	
	アンカー長		設計値以上	
大型標識工 (標識基礎工)	幅	$w_1, w_2$	$-30$	
	高 さ	h	$-30$	
大型標識工 (標識柱工)	設置高さ	H	設計値以上	

測定基準	測定箇所	摘要
図面の寸法表示箇所にて測定。		
両端、施工継手及び図面の寸法表示箇所にて測定。		
施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、施工延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
1 施工箇所毎		
1 箇所／1踏掛版		
全数		
全数		
基礎一基毎		

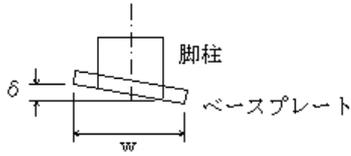
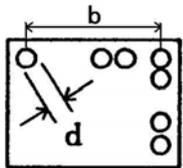
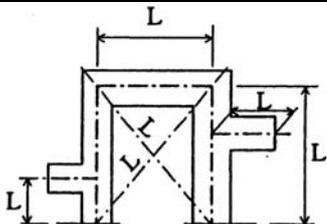
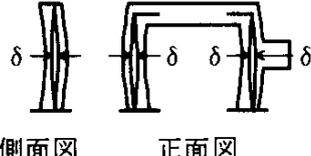
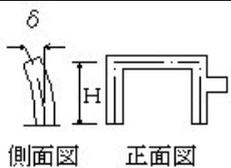
出来形管理基準及び規格値

単位mm

工 種	測定項目	規格値
ケーブル配管工	深 さ t	0~+50
	延 長 L	-200
ケーブル配管工 (ハンドホール工)	基準高▽	±30
	※厚 さ t <sub>1</sub> ~t <sub>24</sub>	-20
	※幅 w <sub>1</sub> , w <sub>2</sub>	-30
	※高 さ h <sub>1</sub> , h <sub>2</sub>	-30
照明工 (照明柱基礎工)	幅 w	設計値以上
	高 さ h	設計値以上

測定基準	測定箇所	摘要
<p>接続部間毎に1箇所</p>		
<p>接続部間毎で全数。</p>		
<p>1箇所毎 ※印は、現場打ちのある場合</p>		
<p>1箇所毎/1施工箇所</p>		

工 種	測定項目		規格値	
			個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均(X <sub>10</sub> )
			上限	下限
鋼製橋脚製作工	部	脚柱とベースプレートの鉛直度 δ (mm)		W/500
		材	ベースプレート	孔の位置 b
			孔の径 d	0~5
	仮 組 立 時	柱の中心間隔、対角長 L (m)		±5…L ≤ 10m ±10…10 < L ≤ 20m ±(10+(L-20)/10) …20m < L
		はりのキャンバー及び柱の曲がり δ (mm)		L/1,000
		柱の鉛直度 δ (mm)		10…H ≤ 10 H/1,000…H > 10

測定基準	測定箇所	摘要
各脚柱、ベースプレートを測定。		
全数を測定。		
全数を測定。		
両端部及び片持ばり部を測定。		
各主構の各格点を測定。		
各柱及び片持ばり部を測定。 H : 高さ (m)		

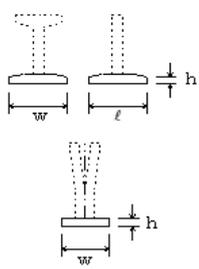
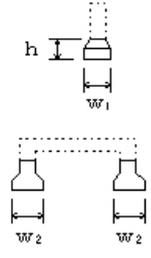
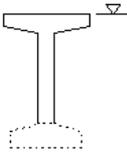
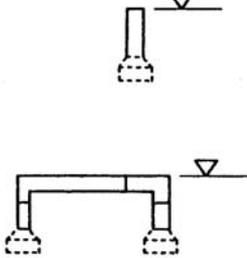
工 種	測定項目	規格値	
橋台躯体工	基準高 $\nabla$	±20	
	厚 さ t	-20	
	天 端 幅 $w_1$ (橋軸方向)	-10	
	天 端 幅 $w_2$ (橋軸方向)	-10	
	敷 幅 $w_3$ (橋軸方向)	-50	
	高 さ $h_1$	-50	
	胸壁の高さ $h_2$	-30	
	天 端 幅 $l_1$	-50	
	敷 長 $l_2$	-50	
	胸壁間距離 $l$	±30	
	支間長及び中心線変位	±50	
	支 承 部 ア ン カ ー ボ ル ト の 箱 抜 き 規 格 値	計画高	-20~+10
		平面位置	±20
アンカーボルトの鉛直度		1/50以下	

測定基準	測定箇所	摘要
<p>橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。</p>	<p>The diagram illustrates various measurement points for bridge piers. It includes cross-sectional views of trapezoidal and T-shaped piers, and a plan view showing the relationship between chamber wall distance, span length, and pier width.</p>	

工 種	測定項目		規格値
橋脚躯体工 (張出式)	基準高	▽	±20
	厚 さ	t	-20
	天 端 幅 (橋軸方向)	w <sub>1</sub>	-20
	敷 幅 (橋軸方向)	w <sub>2</sub>	-50
	高 さ	h	-50
	天 端 長	ℓ <sub>1</sub>	-50
	敷 長	ℓ <sub>2</sub>	-50
	橋脚中心間距離	ℓ	±30
	支間長及び中心線変位		±50
	支 承 部 ア ン カ ー ボ ル の 箱 抜 き 規 格 値	計画高	-20~+10
平面位置		±20	
アンカボルトの鉛直度		1/50 以下	
橋脚躯体工 (ラーメン式)	基準高	▽	±20
	厚 さ	t	-20
	天 端 幅	w <sub>1</sub>	-20
	敷 幅	w <sub>2</sub>	-20
	高 さ	h	-50
	長 さ	ℓ	-20
	橋脚中心間距離	ℓ	±30
	支間長及び中心線の変位		±50
	支 承 部 ア ン カ ー ボ ル の 箱 抜 き 規 格 値	計画高	-20~+10
		平面位置	±20
アンカボルトの鉛直度		1/50 以下	

測定基準	測定箇所	摘要
<p>橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。</p>		
<p>橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。</p>		

工 種	測定項目	規格値
橋脚フーチング工 (I型・T型)	基準高 $\nabla$	$\pm 20$
	幅 $w$ (橋軸方向)	$-50$
	高さ $h$	$-50$
	長さ $l$	$-50$
橋脚フーチング工 (門型)	基準高 $\nabla$	$\pm 20$
	幅 $w_1, w_2$	$-50$
	高さ $h$	$-50$
橋脚架設工 (I型・T型)	基準高 $\nabla$	$\pm 20$
	橋脚中心間距離 $l$	$\pm 30$
	支間長及び中心線の変位	$\pm 50$
橋脚架設工 (門型)	基準高 $\nabla$	$\pm 20$
	橋脚中心間距離 $l$	$\pm 30$
	支間長及び中心線の変位	$\pm 50$
現場継手工	現場継手部のすき間 $\delta_1, \delta_2$ (mm)	5 ※ $\pm 5$

測定基準	測定箇所	摘 要
<p>橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。</p>		
<p>橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。</p>		
<p>橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。</p>		
<p>橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。</p>		
<p>主桁、主構の全継手数の 1 / 2 を測定。 ※は耐候性鋼材（裸使用）の場合</p>		

出来形管理基準及び規格値

単位mm

工 種	測定項目		規格値
橋梁用高欄製作工	部	部材長 $l$ (m)	$\pm 3 \cdots \cdots l \leq 10$ $\pm 4 \cdots \cdots l > 10$
	材		

出来形管理基準及び規格値

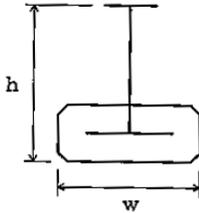
単位mm

測定基準	測定箇所	摘 要
図面の寸法表示箇所にて測定。		

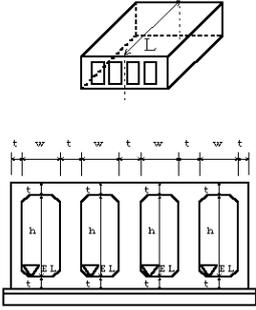
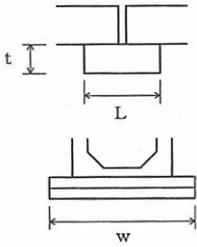
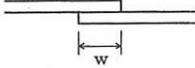
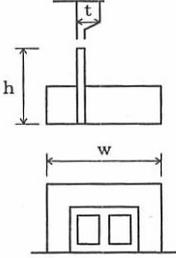
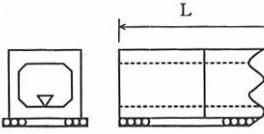
## 出来形管理基準及び規格値

単位mm

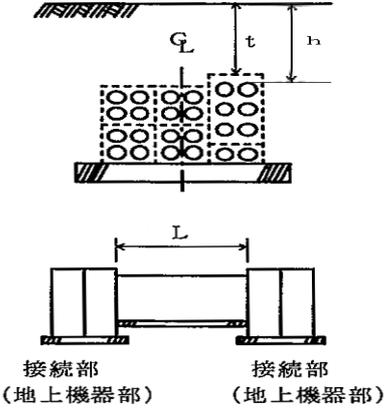
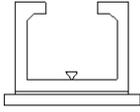
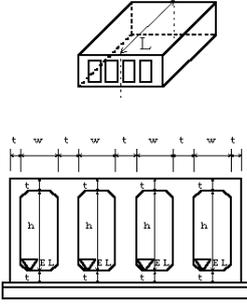
工 種	測定項目	規格値
プレビーム桁製作工 (現場)	幅 w	± 5
	高さ h	+10 - 5
	桁 長 スパン長 ℓ	ℓ<15…±10 ℓ≥15…±(ℓ-5) かつ-30mm以内
	横方向最大タワミ	0.8ℓ

測定基準	測定箇所	摘 要
<p>桁全数について測定。                      横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。                      桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする。                      ℓ：スパン長</p>		
<p>各支点及び各支間中央付近を測定。</p>		
<p>原則として仮組立をしない部材について主要部材全数で測定。</p>		
<p>各主桁について10～20m間隔を測定。</p>		

工 種	測定項目	規格値
現場打躯体工	基 準 高 $\nabla$	±30
	厚 さ t	-20
	内 空 幅 w	-30
	内 空 高 h	±30
	ブロック長 L	-50
カラー継手工	厚 さ t	-20
	幅 w	-20
	長 さ L	-20
防水工 (防水)	幅 w	設計値以上
防水工 (防水保護工)	厚 さ t	設計値以上
防水工 (防水壁)	高 さ h	-20
	幅 w	±50
	厚 さ t	-20
プレキャスト躯体工	標 準 高 $\nabla$	±30
	延 長 L	-200

測定基準	測定箇所	摘 要
<p>両端・施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所で測定。</p>		
<p>図面の寸法表示箇所で測定。</p>		
<p>両端・施工継手箇所の底版・側壁・頂版で測定。</p>		
<p>両端・施工継手箇所の「四隅」で測定。</p>		
<p>図面の寸法表示箇所で測定。</p>		
<p>施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。ただし、基準高の適用は据付後の段階検査時のみ適用する。</p>		
<p>延長：1施工箇所毎</p>		

工 種	測定項目	規格値
管路工	埋 設 深 h	0～+50
	延 長 L	-200
プレキャストボックス工	基 準 高 ▽	±30
現場打ボックス工	基 準 高 ▽	±30
	厚 さ t	-20
	内 空 幅 w	-30
	内 空 高 h	±30
	ブロック長 L	-50

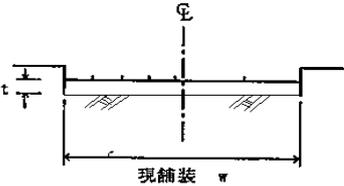
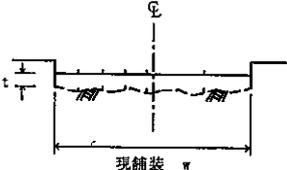
測定基準	測定箇所	摘 要
<p>柵間毎に全数。</p>	 <p>接続部 (地上機器部)      接続部 (地上機器部)</p>	
<p>接続部(地上機器部)毎に 1 箇所。</p>		
<p>両端・施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所で測定。</p>		

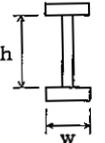
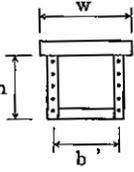
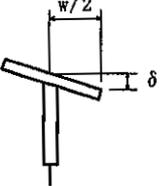
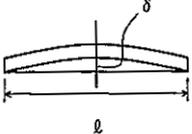
出来形管理基準及び規格値

単位mm

工 種	測定項目	規格値	
		個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均(X <sub>10</sub> )
切削オーバーレイ (路面切削)	厚 さ t	-7	-2
	幅 w	-25	-
オーバーレイ工	厚 さ t	-9	
	幅 w	-25	
	延 長 L	-100	
	平 坦 性	-	3 mプロファイル ター(σ) 2.4 mm以下直 読式(足付き) (σ)1.75 mm以 下

工 種	測定項目	規格値
桁補強材製作工	フランジ幅 w (m) 腹板高 h (m) 腹板間隔 b (m)	$\pm 2 \cdots w \leq 0.5$ $\pm 3 \cdots 0.5 < w \leq 1.0$ $\pm 4 \cdots 1.0 < w \leq 2.0$ $\pm (3 + w/2) \cdots 2.0 < w$
	フランジの直角度 δ (mm)	w/200
	圧縮材の曲がり δ (mm)	ℓ/1000
床版補強工 (炭素繊維シート接着)	重ね継手長	設計値以上

測定基準	測定箇所	摘要
<p>厚さは20m毎に現舗装高さと切削後の基準高の差で算出する。測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 延長20m未満の場合は、2箇所／施工箇所とする。断面状況で、間隔、測点数、厚さを変えることが出来る。測量方法は自動横断測定法によることが出来る。</p>		
<p>厚さは20m毎に現舗装高さとオーバーレイ後の基準高の差で算出する。測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 幅は延長40m毎に1箇所の割とし、延長20m未満の場合は、2箇所／施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数、厚さを変えることが出来る。</p>	 <p>維持工事、及び施工延長100m未満又は人力敷均しにより舗設した箇所においては、平坦性の項目を省略することが出来る。</p>	

測定基準		測定箇所	摘要
鋼げた等	トラス・アーチ等		
主げた・主構	各支点及び各支間中央付近を測定。	 <p>I型鋼げた</p>  <p>トラス弦材</p>	
床組など	構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の中央付近を測定。		
主げた	各支点及び各支間中央付近を測定。		
主要部材全数を測定。	ℓ：部材長(mm)		
全数			